



あひるぐみだより

2020年度3月号

社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園

散歩に出掛けると小さな花が咲いていたり、園庭のチューリップの芽が顔をのぞかせたりと春の訪れを感じられるようになってきました。この一年間であひる組の子どもたちは心も体も大きくなりました。ズボンの上げ下げをしたり、靴や靴下を履いたりと自分でできることも増え、いつの間にかまた一歩お兄さんお姉さんへと成長したように思います。あと一ヶ月ですが子どもたちと楽しく元気に過ごしていきます。
また、春になったとはいえ、まだまだ冷たい風が吹く日もあります。薄手の上着を用意していただくなどし、気温に合わせて着脱をしていきますので、よろしく願いいたします。

だいすきな。。。あそび

○手遊びや歌が大好きな子どもたち。最近のお気に入り「おにのパンツ」「手をつなごう」「グーチョキパー」です。歌をうたいながら手や足や体を動かして、じゃんけんの動作も上手に真似っこできるようになりました。ぜひ、一緒にうたってみてください。

○ブロックを電話に見立てて、「もしもし」「はーい!」「リンゴをください」「いいよ」などとお話しをする姿が増えてきました。
あそびのイメージも広がってきて、お店屋さんごっこやつもりあそびとなり、それをお友だちと一緒に楽しむようになってきています。子どもたちの会話に耳を傾けると、心がほっこりします。




寝る子は育つ!しっかりと寝よう zzz

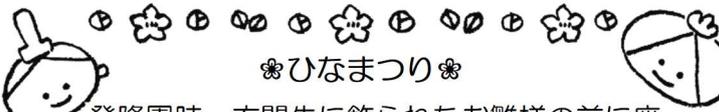
「春眠暁を覚えず」ということわざがあります。春は暖かく、また夜も短いためつい寝過ぎてしまうという意味です。

夜の睡眠には、子どもの成長に関わる大切な役割がいっぱいで重要な活動です。昼間に使った脳はこの間に休んでいます。子どもたちが眠っている21時～23時の間は、成長ホルモンが最も多く分泌される重要な睡眠の時間帯です。夜更かしをすると、成長に影響が出てしまうこともあります。

夜はぐっすりと眠れるようにし、規則正しい健康生活をするためにも、21時には布団に入れるようにしていけたらいいですね。

～歩こう歩こう～

お友だちや保育者とぎゅっと手を繋ぎ“あるこうあるこう、わたしはげんき”と歌をうたいながら散歩に出かけます。4月には立ち乗りバギーに乗って出かけることもありましたが、今では自分の足で地面を踏みしめて往復で40分位歩いています。転んでも泣かずに自分で立ち上がり、手をパンパンとしている姿や転んでしまったお友だちに「だいじょうぶ?」と声を掛けている姿に感動します。

＊ひなまつり＊

登降園時、玄関先に飾られたお雛様の前に座わって、じーっと見つめている子どもたちの様子をよく見ます。「おひなさまをつくる?」と声をかけると「つくるー」とテーブルの周りにみんな集まってきました。絵の具を指先につけてペタペタとスタンプしたり、指でグルグルしたり、筆を使いポンポンとしたり一つだけの素敵なお雛様ができました。



最後に、成長の著しい大切なこの時期を、子どもたちと一緒に過ごし保護者の方と子どもたちの輝く姿を見守っていったことを嬉しく思っています。あたたかく見守っていただき、ありがとうございました。

